

浜松・佐久間の若者有志

『思い出喫茶』で帰省促進



地元出身者の帰省を促す喫茶店についてアイデアを出し合う運営担当の若者たち＝10月下旬、浜松市中区

少子高齢化と過疎化が深刻な浜松市天竜区佐久間町で若者有志が10日、町外に住む地元出身者の帰省を促そうと一日限定で喫茶店「おもいでkissaはなさくま」を開く。同町で開催される産業祭「フェスタさくま」に合わせた企画で、同日を「佐久間ホームカミングデー」と位置づけて地域の潜在的な活力を集め、にぎわいづくりへの貢献を図る。

主催は同町出身の20～30代若者サミット。伝説的な約10人で活動する若者組織「サミット！」(佐久間)が相次ぎ、近年活気が失

はじける世代を深く
DeePop
ディーポップ

10日・産業祭 写真持ち寄り地図作り

中山間地域の町づくりを研究する静岡文化芸術大学の船戸修一准教授とゼミ生も協力する。フェスタ会場に設ける喫茶店で「佐久間思い出MAP」作りを企画。よく遊んでいた場所、昔通っていた店、この先生にもう一度会いたいなどの思い出が詰まった写真を来場者を持ち込んでもらい、飲み物と交換する。携帯写真も現地で印刷できる。

写真は大きな佐久間町の地図に貼り付け、思い出や町づくりの思いを共有してもらおう。完成した地図は今後の帰省促進プロジェクトに生かす。

「サミット！」の小野田昇悟さん(22)は「若者主導で帰省を促す試みは初めて。同世代の友人たちも参加に前向きで、きっかけが大切だと感じる」と話す。

フェイスブックやイン스타그램でも「サミット！」のアカウントで情報を発信中。

(水窪支局・塩谷将広)